



京都市内・大阪・神戸からのアクセスも便利

- JR京都駅→福知山駅 最短75分
- JR大阪駅→福知山駅 最短91分
- 大阪なんば→福知山駅 107分(高速バス)
- 神戸三宮→福知山駅 90分(高速バス)



- 福知山駅北口より京都交通バス循環線にて「平和公園下」または「小谷ヶ丘・福知山公立大学前」下車、徒歩6分
- 福知山駅南口よりタクシーにて5分
- 福知山駅より徒歩にて30分

# 福知山公立大学の「現在」

大学概要2026

地域とともに次代を紡ぐ  
**福知山公立大学**  
 The University of Fukuchiyama



〒620-0886 京都府福知山市字堀3370  
 TEL.0773-24-7100 FAX.0773-24-7170

<https://www.fukuchiyama.ac.jp>

2026年3月 発行

福知山公立大学 検索

# 地を究め 知を創る

福知山公立大学は2016年に開学してから、10年を経ました。地域経営学部だけで出発して、2020年に情報学部、2024年に大学院地域情報学研究所を設置して、教育機関としての充実を図り、福知山市はもとより北近畿地域での一定の存在感を得て期待に応えてきました。

そして本年から、両学部の学士課程のカリキュラムを、「情報学を基盤とした地域協働型教育」と「汎用的学修能力の育成」を中核として、大きく刷新します。情報学・データサイエンスの知識・スキルが必須の現代において、それにふさわしい形で地域に貢献できるとともに、卒業後も自ら学び続けることのできる人材を育てていきます。

また、本年は情報学部で高校の「情報」と「数学」、中学の「数学」の教員免許が取得できる教職課程の教育が始まる年でもあります。とりわけ教員不足が目立つ科目「情報」については、北近畿地域の期待は大きく、学生が免許を取得できるというだけでなく、地域の中等教育の現場にさまざまな面でこれから貢献できるとしています。

この冊子には、教育に関わるこの2つの挑戦とともに、地域のアクターとの共同研究や、より直接的な学生や教員の地域への貢献活動など、地域社会と本学とがともに発展する「福知山モデル」実現のために継続されているさまざまな活動が紹介されていますので、ご覧いただければ幸いです。次の10年に向けた始まりの時にあたり、みなさまのご理解とご支援をあらためてお願いいたします。

### 理事長兼学長 川添 信介

1955年佐賀県生まれ。1978年京都大学文学部哲学科卒業。同文学研究科博士課程、フランス留学を経て、1985年大阪市立大学文学部助手。1996年に京都大学文学研究科助教授となり、教授、文学研究科長、理事・副学長を経て、2020年退職。2022年に福知山公立大学理事長・学長に就任。専門は西洋中世哲学史。主たる研究テーマはトマス・アクィナス。著書に『水とワイン西欧13世紀における哲学の諸概念』『トマス・アクィナスの心身問題『対異教徒大全』第2巻より』など。



地域の活動と教育・研究が共鳴する独自の地域協働の枠組みを確立することが私のミッションです。鍵は、ステークホルダーの自発的な取り組みの調和的な結びつきから生まれる新たな価値の創出にあります。生成AIをとことん活用して、これまでにない視点から核心に迫ることで、地域協働の新たな境地を開拓します。クリエイティビティを高めるだけでなく教職員や学生のウェルビーイングの向上もねらいます。また、大学のパフォーマンスをタイムリーに把握するため、活動データの収集と高品質な指標算出の枠組み作りをめざします。皆様とともに未知の領域に楽しくチャレンジしていきたいと思ひます。



理事兼副学長 (研究・地域貢献・評価担当)

### 西田 豊明

福知山公立大学では「地域協働」という独自の教育を実践しています。学生は教員の指導のもとで地域に入り込み、地域の自治体、企業、諸団体、さらには住民の皆様方と直接に交流しながら、地域課題の解決に向けた実践的な学習を行っています。開学10周年となる2026年からは、文理の枠を超えた「情報学を基盤とする地域協働型教育」に取り組んで参ります。現代の地域社会が直面する複雑な課題を科学的に分析するためには、情報学のスキルや知識を修得することが不可欠だからです。本学の教育に対して、福知山市、北近畿地域をはじめとする、地域の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



理事兼副学長 (学務・総務担当)

### 倉田 良樹

## INDEX

1	学長、副学長挨拶	9	教育研究組織
2	基本理念・目標 基本情報 沿革	10	附属機関
3	福知山モデル	11	全ての都道府県から集う学生たち
5	主なトピック	12	教員一覧
7	情報学を基盤とした地域協働型教育	13	数字で見る福知山公立大学
8	共同開発・共同研究 STL助成金		

## 基本理念・目標

大学の基本理念は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」である。

この基本理念のもと、大学は地域と協働し多様で主体的に行動する人材の育成、地域産業の活性化と新産業の創造、暮らしの質・文化の向上、さらには若者が定住する賑わいある地域づくりや北近畿地域で学び働く人材循環システムの構築、地域協働型教育研究の発展など新たな社会的価値の創出に寄与することを目標とする。

## 基本情報

法人名	公立大学法人福知山公立大学
法人設立	2016年
所在地	京都府福知山市宇堀3370番地
組織	地域経営学部(地域経営学科、医療福祉経営学科 ※2026年募集停止) 情報学部(情報学科) 基盤教育院 大学院 地域情報学研究所(地域情報学専攻) 【附属機関】北近畿地域連携機構、メディアセンター、地域防災研究センター、国際センター、数理・データサイエンスセンター
学生数	916人(学部:885人、大学院:31人)
教職員数	【教員】46人 【職員】41人 ※兼任、非常勤を除く
校地校舎	【校地】29,771.13㎡ 【校舎】13,395.53㎡

※学生数・教職員数・校地校舎は2025年5月1日時点

### 学章



福知山市の市花であるキキョウの花の後ろから放射状に5本伸びているのは、「花のガク」を表しており、5本のガクがそれぞれ、大学の役割である「教育」・「研究」・「人材育成」・「情報発信」・「地域貢献」を表し、それらが支えとなって力強く花開く「福知山公立大学」の姿を表現しました。

### ロゴマーク



福知山の「F」をデザイン化したもの。二つの矢印は、上の紫が大学を、下の黄緑が学生をそれぞれ表し、福知山公立大学の最大の特徴である地域協働型教育研究により、学生や教員が大学内から地域に向けて飛び出していくとともに、力強く未来へ飛躍していくイメージを表現しています。

## 沿革

- 2016年(平成28年)
  - 公立大学法人福知山公立大学設立(設立団体:福知山市) 地域経営学部 (地域経営学科40人、医療福祉マネジメント学科10人)
  - 初代理事長兼学長に井口和起が就任
  - 北近畿地域連携センター設置 (2020年に北近畿地域連携機構に名称変更)
- 2017年(平成29年)
  - 医療福祉マネジメント学科を医療福祉経営学科に名称変更
  - 地域経営学部の入学定員を変更 (地域経営学科95人、医療福祉経営学科25人)
- 2018年(平成30年)
  - まちかどキャンパス「吹風舎」設置
- 2020年(令和2年)
  - 情報学部設置(情報学科100人)
  - 地域経営学部の入学定員を変更 (地域経営学科75人、医療福祉経営学科25人)
- 2021年(令和3年)
  - 地域防災研究センター設置
  - 国際センター設置
- 2022年(令和4年)
  - 2代目理事長兼学長に川添信介が就任
  - 数理・データサイエンスセンター設置
  - 5号館竣工
- 2024年(令和6年)
  - 大学院地域情報学研究所設置(地域情報学専攻20人)
- 2026年(令和8年)
  - 10周年を迎える
  - 基盤教育院設置
  - 地域経営学部の入学定員を変更 (地域経営学科100人、医療福祉経営学科は募集停止)
  - 情報学部の入学定員を変更(情報学科120人)
  - 情報学部に教職課程を設置



開学記念式典(2016年4月)

## これまでの本学重点施策

- **学びの拠点基本構想(2015.3)**  
福知山公立大学開設に向けた基本構想
- **知の拠点整備構想(2018.2)**  
情報学部設置を柱とする組織改編や施設整備の計画
- **福知山公立大学将来計画(2021.3)**  
第2期中期計画を見据え、新たな地域連携のコンセプトである「福知山モデル」の提示や大学院の設置を掲げる
- **学士課程教育改編の方針(2024.3)**



# 主なトピック



## 2026年度から新カリキュラムによる学士課程教育を開始

第2期中期計画に掲げる「福知山モデル」の具体化に向け、2024年3月に「学士課程教育改編の方針」を策定し、2026年度からの新たな学士課程教育を開始しました。2025年度には、改編に伴う具体的な制度設計を進め、2026年度から適用する全学および学部の3ポリシーの改訂や、新カリキュラムの整備などを行いました。

改編では、「情報学を基盤とした地域協働型教育」と「汎用的学修能力の育成」を教育目標に掲げ、情報学部の入学定員を120名へ拡充するとともに、地域経営学部を1学科体制へ移行しました。新たな教員組織「基盤教育院」の設置や、教職課程の開設など、全学的な教育基盤の強化を進めています。あわせて、2026年度カリキュラムからは、地域の実践的課題に取り組む「地域協働演習」を新たに導入し、現場での調査・分析・提案を通じて、地域と協働しながら学ぶ教育を体系的に展開しています。これらの取組を通じて、地域社会の課題に主体的に向き合い、変化する社会に対応できる人材の育成を進めています。

### 情報学を基盤とした地域協働型教育

情報学の知識と技術を地域の課題解決に向けて応用する力を身につけ、地域のさまざまな人々と協働して、新たな価値の創造や地域社会の発展に貢献できる人材

本学が育成する人材像

### 汎用的学修能力の育成

専門的な知識と技術を修得した上で、社会の急速な変化に対応するために主体的に考え、生涯にわたって学び続ける力を持った人材

## 情報学部に教職課程を設置

2026年度から情報学部に教職課程を設置し、4月1日から開設します。本学における教職課程の設置は初めてとなり、2026年度入学生から履修が可能です。取得できる教員免許状は、中学校教諭一種免許状(数学)および高等学校教諭一種免許状(数学・情報)です。情報学を基盤とした論理的思考力やデータ活用力を備え、地域社会との連携を通じて学び続ける力を持った教員の養成を進めます。情報社会の発展や地域の教育を支える人材育成につなげていきます。

取得できる免許状

免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	数学
高等学校教諭一種免許状	数学
高等学校教諭一種免許状	情報

詳細はこちら



### 福知山公立大学教職課程の特色

#### 地域に貢献する先生に

地域での学びを活かし、学校と地域の未来づくりに貢献します。

#### 学ぶ楽しさを伝えられる先生に

自ら学び続け、生徒にも“学ぶ喜び”を届けられる力を育てます。

#### 情報社会に強い先生に

データ活用や論理的思考など、情報学部ならではの力を授業に活かします。

#### 次世代を支える先生に

子どもたち一人ひとりの良さを伸ばし、社会に貢献できる成長を支えます。

## 本学大学院生が国際学会で研究成果を発表

本学大学院地域情報学研究科の学生による研究論文が、進化計算分野における国際会議「GECCO2025 (Genetic and Evolutionary Computation Conference)」にフルペーパーとして採択され、2025年7月にスペイン・マラガで開催された同学会において研究発表を行いました。発表では、進化的アルゴリズムを用いた最適化手法に関する研究成果について報告し、効率的な探索や解の改善に関する新たな知見を示しました。GECCOは同分野で世界的に評価の高い国際会議の一つであり、本学大学院生が国際的な研究の場で成果を発信する機会となりました。本学では、大学院での研究活動を通じて高度な専門性を持つ人材の育成を進めています。



## ご寄附・ご寄贈への感謝と支援の広がり

福知山公立大学では、多くの皆様からのご支援により、教育・研究活動や学生支援の充実を図っています。昨年、福知山市に対して「大学のために活用してほしい」との趣旨で高額のご寄附をお寄せくださった岡井様が、大学見学のため来学されました。当日は川添学長の案内のもと学内施設を見学され、学生との懇談では遠方から学ぶ学生へ温かい励ましの言葉をかけていただくなど、学生への深い思いが伝わる機会となりました。

また、2025年12月には、福知山市大江町のご厚意により実現したご縁を通じて、日本鬼師の会より全国各地の鬼師による鬼瓦4点を寄贈いただきました。鬼瓦は日本の伝統建築文化を象徴する工芸品であり、地域文化の継承と発信を目的として、本学において学生や教職員が地域文化に触れる機会の創出につながるものです。



### 寄附のご案内

本学では、皆様からいただいたご寄附・ご寄贈を教育研究活動、地域連携、学生支援、施設整備などに活用しています。寄附は、インターネットによる申込み(クレジットカード・コンビニ・Pay-easy対応)のほか、所定様式による申込書を用いた郵送・FAX等でも受け付けており、個人・法人を問わずお申し込みいただけます。今後も、本学の教育研究活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 福知山市のふるさと納税による寄附

福知山市外にお住まいの方は、ふるさと納税を通じて本学の教育研究環境の整備や学生への支援事業などに寄附いただくことが可能です。福知山市の特産品の中から希望の返礼品が贈呈されます。

※寄附金の使い道の選択の際に「福知山公立大学」のご選択をお願いいたします。



ふるさと納税の詳細はこちら

### 福知山公立大学基金

- 寄附の目的
- 1 教育、研究活動、地域貢献活動の充実
  - 2 学生支援の充実
  - 3 施設・設備の整備
  - 4 その他大学運営の向上
  - 5 10周年記念事業の充実

※1口当たりの金額は定めておりません。

### ● 税制上の優遇措置について

- 法人 寄附金全額を損金に算入することができます。
- 個人 所得税および住民税に対する税控除があります。



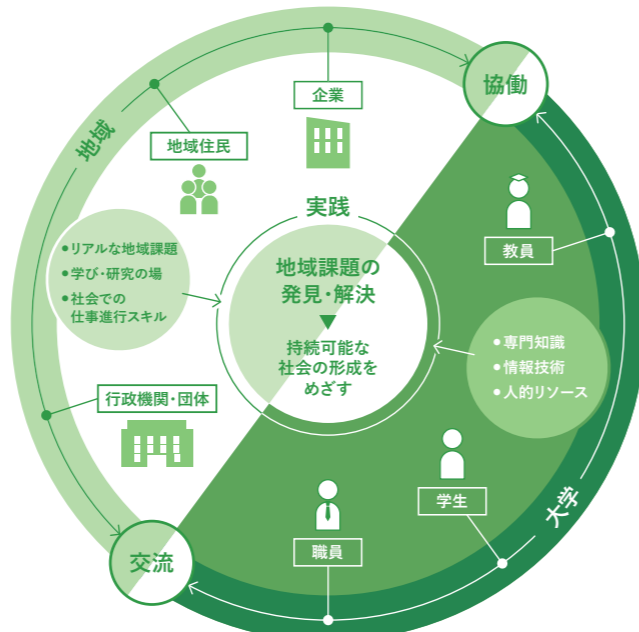
寄附申込みや詳細はこちら

# 情報学を基盤とした 地域協働型教育

「地域協働型教育」は、学生が住民や行政、企業など地域のさまざまなアクターとの協働を通じて、地域社会が抱えるリアルな課題に取り組む実践的な学びです。座学で修得した知識や理論、情報スキルを駆使して、地域の課題解決をめざします。そして、一連のプロセスを通じて、専門的な知識・スキルを現実の課題解決に活用する力を高めます。「情報学を基盤とした地域協働型教育」では、地域課題を解決に導く力を高めるため、地域データを科学的に取り扱い、情報学的手法で地域を理解・分析し、解決策を提示するスキルを身につけます。その上で地域のアクターとの協働に取り組み、課題解決をめざします。

## 地域協働演習

北近畿地域を題材に地域への理解を深め、地域の課題発見の基礎力をつける授業を配置します。講義科目とともに、地域経営学部・情報学部の1年次を対象とした地域協働演習を2学部の学生が混在するクラスで編成し、データ分析とフィールドワークを行います。データ分析では、地域課題に関連するデータを情報学の技術や知識を応用して分析する手法を学びます。フィールドワークでは、地域の人々と協働して地域課題発見のためのスキルを身につけ、地域社会の課題を広い視野で理解する力を身につけることをめざします。



## 地域協働型教育の事例



### お土産物を通して伊根観光の新たな形を発信

地域観光の課題解決に直接的に貢献できると考え、伊根町のお土産開発に挑戦しました。活動では、関係者へのヒアリングや現地調査で判明した「リピーターが少ない」「舟屋への一極集中」の課題にアプローチ。ストーリー仕立ての絵馬セットを伊根全域に分散配置し、観光客を広く分散させるとともに、伊根の魅力を深く感じてもらえることを狙いました。



### 着物の選択を支援するAIシステムの構築をめざす

着付け師の人手不足という課題を知り、その業務をサポートする「着物レコメンドシステム」を構築。生成AIによる画像処理と自然言語処理を用い、入力されたキーワードからおすすめの着物を抽出する仕組みを開発しています。生成AIに着物の特徴を正確かつ具体的に表現させるため、プロンプトをブラッシュアップし、精度の向上に努めています。

# 共同開発・共同研究

本学附属機関・北近畿地域連携機構を通じて企業や自治体の課題解決に向けて教員と学生が取り組みました。



### 大阪・関西万博での催事出展

2025年開催の大阪・関西万博「地方創成SDGsフェス」において、福知山市の「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」を体験的に学べるコンテンツを共同開発しました。情報学部の教員、学生と市職員が連携し、2か月でミニゲーム「血液ファクトリー」とクイズを制作。会期5日間で約4,400名が体験し、その後も市内内外の啓発イベントで活用されています。



### バイオロギング・データサイエンスを用いたオオミズナギドリの行動データの解析

舞鶴市沖の冠島でオオミズナギドリを調査する西舞鶴高校と連携し、バイオロギングとデータサイエンスを活用した行動解析を実施。GPSロガーによる移動追跡やGIS解析を通じて、繁殖期の行動圏や採餌域、鳥まわりの飛行軌跡を可視化しました。生成AIも活用し、高校生の解析スキル向上と探究活動の高度化を支援。地域の自然環境保全に資する科学的知見の蓄積を進めています。



### 土壌水分量の可視化を目的とするIoTの研究

京都府丹後農業改良普及センターと連携し、黒大豆栽培を対象に土壌水分量を可視化するIoT技術の研究。高価なTDR方式に代わり、静電容量型の安価なセンサーを開発し、現地での実証実験を重ねて精度を検証しました。電子工学の知見を活かし、多地点・経時的な水分管理を可能にする技術を確認。今後は制御技術も含め、実践的な農業IoTの実装をめざしています。

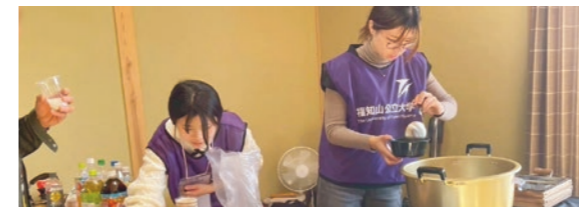
# STL助成金

学生が主体的に実施し、地域を活性化する取り組みに対して活動費を支援しています。※2023年度までは学生プロジェクトという名称でしたが、2024年からSTL (Students Launch) 助成金へと改められました。



### Drip Link「季節で変わるハチミツ 食べ比べイベント」 in Tsunaga Room

「Drip Link」が、地元で由良川のほとりで養蜂を営むHoney Rock(家族で自然の恵み豊かな蜂蜜を生産する養蜂場)と連携し、季節ごとに香りや味の違いが異なる9種類のハチミツの食べ比べやコーヒーとの組み合わせを楽しむイベントを開催し、多世代交流の場を創出しました。



### 七福ふっこう隊 × 福知山高等学校 「次世代へつなぐ支援のバトンプロジェクト」

七福ふっこう隊は福知山公立大学の地域防災研究センターと大門ゼミ「被災地のリレーチーム」、福知山高校と連携し石川県能登地域で「次世代へつなぐ支援のバトンプロジェクト」を実施。大学生と高校生が被災者支援や現地視察、住民との交流を通して災害支援の学びと人のつながりの大切さを深めました。



### GrowSpiral × アグリサークュラーデザイン in Fukuchiyama 「オーリーブフィナンシェ」

福知山公立大学の学生が地域のB型就労所と協働し、規格外資源のオーリーブを活かした「オーリーブフィナンシェ」を開発・販売することで、障がいのある方々の工賃向上と持続可能な価値創出に挑戦したSTL助成金プロジェクトです。

# 教育研究組織

## 地域経営学部

[入学定員:100名] 学位 学士(地域経営学)

幅広い分野の知識を横断的に修得し、地域社会のマネジメントを実践的に学ぶ



HPはこちら

### 地域行政科目群

地域行政について学び、地域社会の発展において行政が果たす役割や課題について、理論と実践の両面から考えていく科目群です。地域行政における主要アクターである地方自治体等との協働など、自治体の活動について学んでいきます。教育、福祉、医療など、地域の公共サービスの現状と課題についても学びます。

### 地域産業科目群

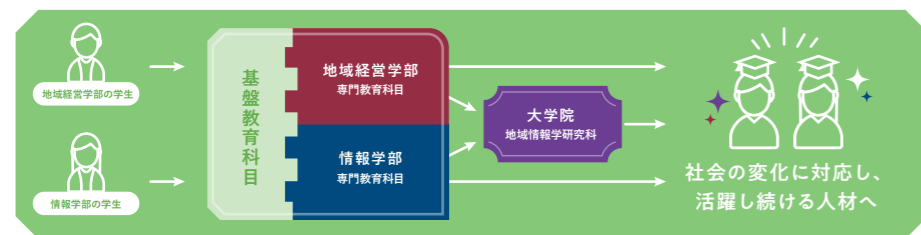
地域産業について学び、地域社会の発展において産業が果たす役割や課題について、理論と実践の両面から考えていく科目群です。地域産業の主要アクターである企業等との協働など、地域におけるビジネスの活動を学びます。また、地域の中小企業や地域産業における観光業の役割と課題についても学びます。

### 市民社会科目群

市民社会について学び、地域社会の発展において市民社会が果たす役割について、理論と実践の両面から考えていく科目群です。地域の住民は、地域社会の担い手として、自治体や企業とは異なる立場でさまざまな地域活動を行っています。これら住民の人たちとの協働など、地域における市民社会の現状と課題について学びます。

## 基盤教育院

基盤教育院は、地域経営学部・情報学部の学生が共通の基盤教育科目を共に履修し、地域との協働を通して「生涯にわたり学び続ける力」を備えた人材を育成する教員組織です。



## 大学院地域情報学研究科(修士課程)

[入学定員:20名] 学位 修士(情報学)/修士(学術)

### Feature 1 地域と共に成長する大学院

情報学の深化をめざす研究開発に加え、その成果を地域に根ざした実践活動に適用することをめざします。

#### 地域に根ざした教育・研究の「2本の柱」

地域社会に貢献する  
情報学の深化と研究開発

情報学による地域に根ざした  
実践的プロジェクトの遂行

研究テーマ例 修士課程で実際に取り組むテーマは、地域課題を扱う実践的なプロジェクトから情報学研究までさまざまなものが想定されます。

福祉とロボット

学びの場のDX

公共・観光のスマート化

地域防災×ICT

AI・データサイエンス

## 情報学部

[入学定員:120名] 学位 学士(情報学)

最先端の情報技術で社会課題の解決に挑む「実践的」情報学



HPはこちら

### 数理・データサイエンストラック

ビッグデータを収集し、それを整理・分析し、価値を付加することによって、現代の地域・社会が抱える、流通・経済・交通・防災・農業等の諸課題の解決への途を探ることのできる人材を養成します。

### ICTトラック

情報を解析し、利用できることやアプリケーションの開発ができるようになることで、現代の地域・社会が抱える、ものづくり、情報システム、情報セキュリティ、エネルギー等の諸課題解決に挑む人材を養成します。

### 人間・社会情報学トラック

AI(人工知能)やエンタテインメントなどで注目されている情報技術を学び修めることで、現代の地域・社会が直面する医療・介護、国際交流等の諸課題を解決に導き、芸術や娯楽等に活用して現代社会に活力を与えることができる人材を養成します。

### 教職課程

- 取得できる教員免許状の種類
  - 中学校教諭一種免許状(数学)
  - 高等学校教諭一種免許状(数学)
  - 高等学校教諭一種免許状(情報)
- 3つの免許状を同時取得可能
  - 3つの免許状を同時取得するには、数学・情報それぞれの教科に関する専門科目の履修が必要です。



HPはこちら

### 【5つの科目群】

1. 地域協働基盤科目群
2. 情報科目群
3. 汎用的学修能力育成基盤科目群
4. 統合知基盤科目群
5. 外国語科目群



HPはこちら

### Feature 2 実践的プロジェクトの成果による学位認定

学術研究による学位[修士(情報学)]だけでなく、地域での起業・共同開発事業等により、研究科での活動の成果を地域社会に実際に還元するための活動を通じて学位[修士(学術)]を取得できるプログラムを有しています。

#### 2年次

情報学研究コース	地域情報プロジェクトコース
情報学研究の深化 学術研究成果を形成 修士(情報学)	実践的プロジェクト 地域社会に貢献する 修士(学術)

# 附属機関

## ■北近畿地域連携機構

北近畿地域における教育研究活動の連携拠点として、福知山公立大学と北近畿地域の企業、行政機関その他各種団体をつなぎ、北近畿地域の発展に向けて取り組む組織です。企業や地域住民から課題の相談を受け、教員につなぐほか、各種公開講座の提供などを通じて、地域社会への貢献を推進します。



北近畿地域  
連携機構のHP

## 地域の人材育成プログラム

### NEXT産業創造プログラム

起業をめざす方が必要な知識やスキルを短期間で修得するための「NEXT産業創造プログラム」を実施しています。本学教員をはじめ各界で活躍する起業家を講師に招聘し、新たな価値創造に挑戦する人材育成をめざします。



### 市民講座

大学の持つ「知」を広く市民に提供し、持続可能な地域社会形成の一助となることを目的として、講演およびパネルディスカッションを実施しています。

#### 講座タイトル(2025年度実績)

- 観光データ分析の最前線
- 生体計測技術が切り拓く将来の地域産業



## ■地域防災研究センター



地域経営学、情報学の専門的知見を活かし、福知山周辺地域で蓄積されてきたデータの収集・分析を基に、地域防災に関する現状把握・課題・対応策などの研究を行います。その内容や成果を社会実装につなげるとともに、より包括的な地域防災のあり方への提言を行うなど、自治体の防災・危機管理に寄与することをめざしています。

- 2024年度は令和6年能登半島地震の被災地支援として、石川県七尾市中島町および輪島市を中心に、継続的な災害ボランティア活動を実施しました。本活動は、単発的な復旧支援にとどまらず、仮設住宅での生活の長期化を見据え、地域コミュニティの再建過程に伴走する関わりを重視しています。また、被災地の状況発信として市民向けシンポジウム、写真展を開催し、これまで被災地で行ってきた支援活動を振り返りながら、これからの復旧・復興支援について一緒に考える機会を提供できました。

▲2024能登半島地震写真展(2025年3月8日～12日)交流プラザ・ふくちやギャラリー



地域防災研究  
センターHP

## ■まちかどキャンパス「吹風舎」



まちかどキャンパス「吹風舎(ふくちしゃ)」は、学生・教職員と地域の人々が集い、交流する機会と場をつくる「いえ(舎)」です。多様な人々が集い、話し合いや共同作業を通して学び合い、持続可能な地域社会形成の担い手となる人材育成の場をめざしています。



吹風舎  
インスタグラム

## ■国際センター



国際的な視野に立った研究・教育活動および国際交流事業を展開し、地域の国際化に貢献するとともに、福知山ならではの独自の視点を世界に向けて発信することをめざしています。



国際センターHP

- 本学学生の海外留学プログラムの企画や海外の大学から短期交換留学生の受け入れを行うほか、地域の国際交流活動に協力します。

## ■メディアセンター



メディアセンターでは本学の研究・教育・学修のために不可欠な資料を収集、組織、保管して、学生や教職員に提供しています。現在、北近畿地域資料を含む約9万3千冊の図書や60種の雑誌を所蔵しており、生涯を通した「学び場」の提供として市民の方にも広く開放しています。



メディア  
センターHP

## ■数理・データサイエンスセンター



現代社会において必須とされる数理科学やデータサイエンスの拠点として、数理・データサイエンスの教育および研究を推進するとともに、さまざまな機関と連携して関連するテーマの共同研究などを実施しています。



数理・データ  
サイエンスセンターHP

- 文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、情報学部のカリキュラムを用いたプログラムが「応用基礎レベル」に認定されました。

# 全ての都道府県から集う学生たち

叶えたい夢や、達成したい目標を抱き、日本全国から学生が集まっています。

学部生数

# 885名

※2025年5月時点の学部生総数  
(1~4年生)

京都府外出身者割合

# 85.8%

地元出身者以外にも、  
全国から集まっています。



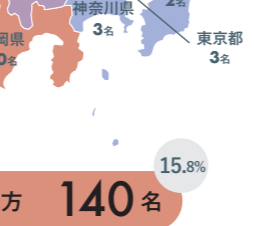
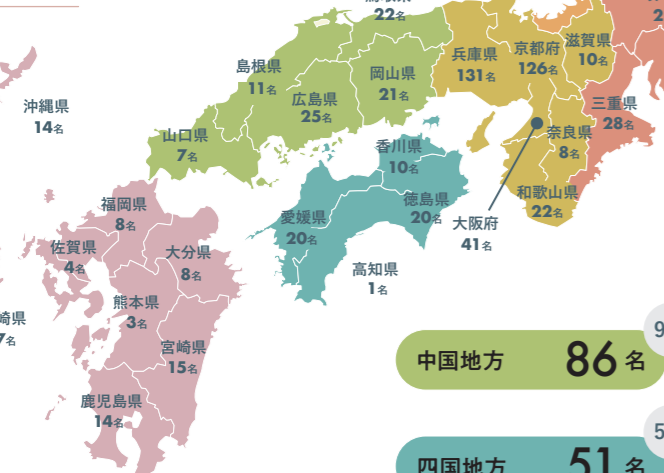
情報学部  
大林 青空さん

**静岡県** 静岡県立浜松湖南高等学校  
地域独自の電子通貨を導入し、地域の魅力が経済価値を生む仕組みをつくりたい



地域経営学部  
待田 結衣さん

**徳島県** 徳島県立城南高等学校  
地元の子どもたちが安心して立ち寄れる「小さな本屋さん」をつくりたい



地域経営学部  
金井 舞斗さん

**長野県** 長野県須坂高等学校  
小売に従事する父や恩師の背中を追って、地域経済の存続を担う存在をめざす

情報学部  
吉村 たまきさん  
**沖縄県** 沖縄県立普天間高等学校  
情報技術で学校教育に革新を。誰ひとり取り残さない社会の基盤をつくりたい

※その他は、高等学校卒業程度認定試験を出願資格とした人。

※掲載学生は2025年入学生

# 教員一覧

※院 学部に加えて大学院でも教育・研究指導を行う教員。※教員の所属は2026年4月現在のものです。

## 地域経営学部

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 井上 直樹 学部長 / 教授 INOUE, Naoki<br>【専門分野】 会計学、監査論、公会計、公監査、公共経営                  | 大谷 杏 准教授 OTANI, Kyo<br>【専門分野】 生涯学習、社会教育、多文化共生                  | 加藤 好雄 准教授 KATO, Koyu<br>【専門分野】 マーケティング                                |
| 神谷 達夫 副学部長 / 教授 KAMITANI, Tatsuo<br>【専門分野】 音響工学、信号処理、コンピュータハードウェア・ソフトウェアの設計 | 院 亀井 省吾 教授 KAMEI, Shogo<br>【専門分野】 経営戦略、イノベーション経営、ベンチャー企業論      | 院 川島 典子 教授 KAWASHIMA, Noriko<br>【専門分野】 社会福祉、地域福祉、ジェンダー                |
| 木村 昭興 教授 KIMURA, Akinori<br>【専門分野】 行政学、公共経営、会計学、管理会計                        | 小山 元孝 教授 KOYAMA, Mototaka<br>【専門分野】 地域史、宗教史、デジタルアーカイブ          | 佐藤 充 准教授 SATO, Mitsuru<br>【専門分野】 地域産業論、観光研究、中小企業論                     |
| 佐藤 恵 准教授 SATO, Megumi<br>【専門分野】 経営工学(品質管理)、医療情報学                            | 院 鄭 年皓 教授 JUNG, Nyunho<br>【専門分野】 経営科学、経営管理論                    | 院 杉岡 秀紀 准教授 SUGIOKA, Hidenori<br>【専門分野】 公共政策学(自治体政策学・地域政策)、地方自治論、NPO論 |
| 院 大門 大朗 准教授 DAIMON, Hiroaki<br>【専門分野】 社会心理学、グループ・ダイナミクス                     | 谷口 知弘 教授 TANIGUCHI, Tomohiro<br>【専門分野】 地域政策、コミュニティデザイン、ワークショップ | 院 張 明軍 准教授 ZHANG, Mingjun<br>【専門分野】 農村ツーリズム、農村計画、中国語教育                |
| 中尾 誠二 教授 NAKAO, Seiji<br>【専門分野】 社会経済農学(都市農村交流)                              | 福島 真治 副学部長 / 准教授 FUKUHATA, Shinji<br>【専門分野】 学校経営、教育行政          | 星 雅文 准教授 HOSHI, Masataka<br>【専門分野】 医療情報学、病院マネジメント、地域医療福祉政策            |
| 三好 ゆう 准教授 MIYOSHI, Yu<br>【専門分野】 財政学、地方財政論                                   |  |   |

## 情報学部

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 院 池野 英利 教授 IKENO, Hidetoshi<br>【専門分野】 ニューロインフォマティクス、生体情報工学、計測工学                                       | 井上 一成 学部長 / 教授 INOUE, Kazunari<br>【専門分野】 情報ネットワーク工学、電子デバイス、電子機器、IoT、地域IoT   | 河合 宏紀 准教授 KAWAI, Hironori<br>【専門分野】 情報工学、知覚情報処理                                   |
| 院 衣川 昌宏 准教授 KINUGAWA, Masahiro<br>【専門分野】 情報セキュリティ、環境電磁工学、電磁情報セキュリティ、ハードウェアセキュリティ、情報通信ネットワーク、電子工学、計測工学 | 院 倉本 到 教授 KURAMOTO, Itaru<br>【専門分野】 エンタテインメントコンピューティング(EC)、ヒューマンエージェント/ロボットインタラクション(HAI/HRI)、ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI) | 院 黄 宏軒 教授 KO, Hironoki (HUANG, HungHsuan)<br>【専門分野】 人工知能、ヒューマンインタフェース、コミュニケーション科学 |
| 院 才木 常正 教授 SAIKI, Tsunemasa<br>【専門分野】 ヒューマンインタフェース、生体計測、微小電気機械システム(MEMS)                              | 院 須志田 隆道 准教授 SUSHIDA, Takamichi<br>【専門分野】 数理生物学、計算幾何学、数値計算  | 院 田中 彰一郎 助教 TANAKA, Shoichiro<br>【専門分野】 進化計算、ランドスケープ解析                            |
| 院 野村 修 教授 NOMURA, Osamu<br>【専門分野】 人工知能、脳型情報処理、アナログ集積回路、認知科学   | 院 橋田 光代 教授 HASHIDA, Mitsuyo<br>【専門分野】 音楽一般、音楽情報科学   | 院 畠中 利治 大学院地域情報学研究科長 / 教授 HATANAKA, Toshiharu<br>【専門分野】 計算知能、データサイエンス、制御工学        |
| 院 畠中 理英 准教授 HATANAKA, Masahide<br>【専門分野】 無線通信、信号処理  | 院 藤井 叙人 講師 FUJII, Nobuto<br>【専門分野】 ゲーム情報学、エンタテインメント情報学、認知科学   | 院 前田 一貴 講師 MAEDA, Kazuki<br>【専門分野】 応用数学、離散可積分系、数値解析                               |
| 院 松山 江里 教授 MATSUYAMA, Eri<br>【専門分野】 知覚情報処理、知能情報学、放射線科学  | 院 眞鍋 雄貴 講師 MANABE, Yuki<br>【専門分野】 ソフトウェア工学  | 院 森 禎弘 教授 MORI, Yoshihiro<br>【専門分野】 制御工学、システム工学                                   |
| 院 山本 吉伸 教授 YAMAMOTO, Yoshinobu<br>【専門分野】 認知科学、サービス工学、計算機科学、ヒューマンインタフェース                               | 院 吉田 誠 講師 YOSHIDA, Makoto<br>【専門分野】 バイオロギング、魚類行動学、オープンサイエンス   | 院 渡邊 扇之介 副学部長 / 准教授 WATANABE, Sennosuke<br>【専門分野】 離散数学                            |

## 基盤教育院

- |   |  |  |
|---|--|--|
| WALSH Anthony 准教授<br>【専門分野】 Applied Linguistics | 院 渋谷 節子 基盤教育院長 / 教授 SHIBUYA, Setsuko<br>【専門分野】 文化人類学、アジアの社会と文化、異文化理解、多文化社会 | 谷岡 慎一 教授 TANIOKA, Shinichi<br>【専門分野】 行政学、地方自治論               |
| 辻 和希 講師 TSUJI, Kazuki<br>【専門分野】 教育哲学、道德教育       | 西木 貴美子 教授 NISHIKI, Kimiko<br>【専門分野】 教育心理学、特別支援教育、感情・人格心理学                  | 山田 篤 教授 YAMADA, Atsushi<br>【専門分野】 自然言語処理、文書処理、音声言語処理、メタデータ管理 |



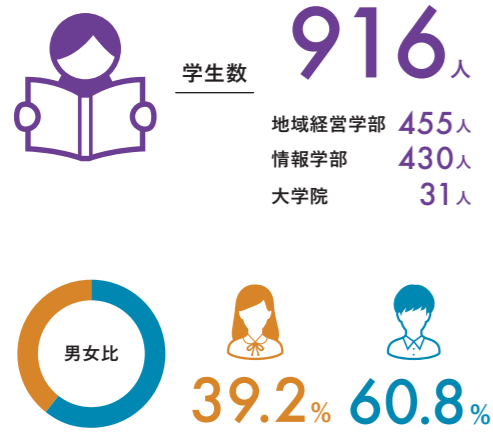
各教員の紹介はこちら

# 数字で見る福知山公立大学

2026年4月1日  
開学10周年



福公大って、こんな大学



2025年5月1日時点

福公大の入試実施状況

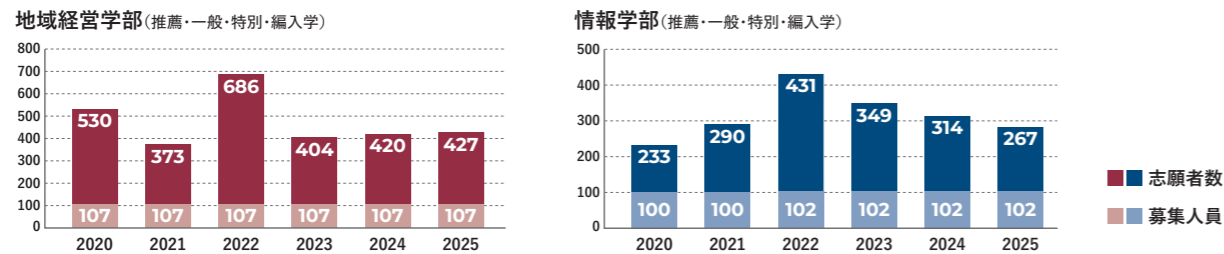
志願者・入学者数 (単位:人)

	地域経営学部			情報学部		
	募集人員	志願者	入学者	募集人員	志願者	入学者
推薦(全国特・地域特・専門学科特)	35	56	36	35	54	40
一般(前期(5教科型・3教科型)・後期)	65	355	78	65	213	68
特別(社会人・私費外国人留学生)	若干名	0	0	若干名	0	0
編入学(2・3年次)	7	16	5	2	0	0
計	107	427	119	102	267	108

大学院 地域情報学研究科

	募集人員	志願者	入学者
一般	20	16	14
一般(第2次)	若干名	3	2
計	20	19	16

志願状況の推移 (単位:人)



2025年度

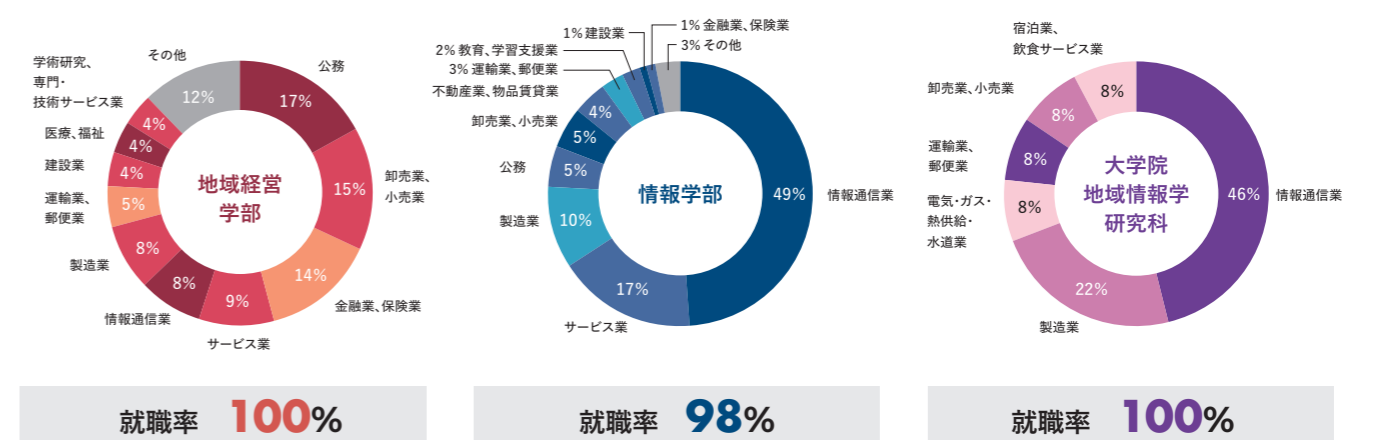
活躍する福公大生



※1: 新聞他紙媒体のメディア限定。(本学調べ)(2025年1月1日~12月31日) ※2: STL: 地域を活性化させる学生活動に対して、大学が活動費を支援する事業 詳細は8ページ参照

2025年度

福公大の就職状況 ※就職率は就職希望者に占める就職者数の割合です。



主な就職先 (過去3年間)

AGCロジスティクス/京都銀行/京都大学/クリナップ/京阪電気鉄道/コロナ/GSユアサ/東京海上日動火災保険/鳥取銀行/トラスコ中山/ナック/西日本旅客鉄道/ニチコン/日本旅行/パソナ/星野リゾート/三菱HCキャピタル/国土交通省/国税庁/福井県/京都府/兵庫県/鹿児島県/福井県越前市/愛知県北名古屋市/京都府福知山市/京都府舞鶴市/兵庫県丹波市/京都府警察

主な進学先 (過去3年間)

福知山公立大学大学院/高知工科大学大学院/明治大学大学院

主な就職先 (過去3年間)

NTTデータMSE/かんでんエンジニアリング/京セラ/月桂冠/滋賀銀行/Sky/スズキ/セガ/ソフトバンク/日本通運/ノーリツ/日立アドバンストシステムズ/日立ソリューションズ/三菱電機/リクルートR&Dスタッフイング/レバレジーズ/三重県/京都府/福井県福井市/静岡県牧之原市/京都府福知山市/岡山県岡山市/大阪府警察

主な進学先 (過去3年間)

福知山公立大学大学院/岐阜大学大学院/九州大学大学院/京都情報大学院大学/奈良先端科学技術大学院大学/星槎大学

主な就職先

インサイトテクノロジー/NRIシステムテクノ/九州電力/Supership/ダイテック/たけびし/デンソーテン/東芝テック/不二鉄工所/ブレナス/平和/三谷コンピュータ/ロジスティード

主な進学先

福井大学大学院(博士後期課程)

2025年度(2026年3月末時点)

地域とつながる福公大



共同研究の件数

**13** 件

受託事業の件数

**9** 件

契約総額

約 **1,897** 万円



連携協定数

**19** 件

連携相談数

**85** 件

連携成約数

**62** 件



委員、講師派遣数

延べ **300** 人

北近畿コラボスペース※の参加会員数

**423** 人

小中高校の本学見学者数

**232** 人(8校)

本学主催・共催の公開講座件数

**19** 件

本学教員による出張講義件数

**47** 件

※北近畿コラボスペースとは、福知山公立大学の北近畿地域連携機構が運営する、北近畿エリアの産学公連携組織のこと。

2025年度